



身を守るためには家の備えも大切です

家の外

ブロック塀

ひび割れや傾きなどがあれば修理を。高さが1.2m以上の場合はひかえ壁が必要です。

雨水ますや側溝

定期的な清掃が浸水の防止につながります。

耐震診断や耐震改修、ブロック塀撤去の助成をしています

詳しくは市公式ウェブサイト
または住宅都市局耐震化支援室へ
TEL 972-2921

名古屋市 耐震化

検索

庭の樹木・植木鉢

強風で枝が折れ、飛ぶと危険です。定期的な手入れのほか、台風接近時は植木鉢は部屋の中へ入れてください。

玄関まわり

自転車や植木鉢など、出入りの支障になるものを置かないようにしましょう。



浸水する区域にお住まいの方は、簡易水防工法の準備を

小規模な水害で、水深の浅い初期段階に土のうや水のうを使った簡易水防工法で家の中への浸水を遅らせたり、防いだりすることができます。事前に準備しておきましょう！

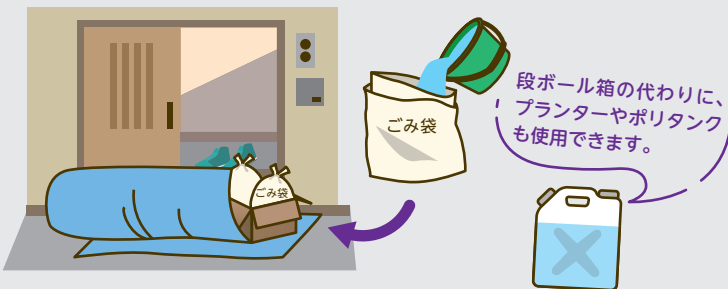
止水板による工法

長めの板と土のうを使用します。



簡易水のうと段ボール箱による工法

土のうや水のう(45リットル程度のごみ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れたもの)を段ボール箱に入れて、レジャーシートで巻き込み、使用します。



台風の接近前や大雨の前に行ってください。危険が迫ってきたら速やかに避難しましょう！

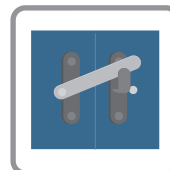
家の中

安全な空間を確保

すべての部屋で家具類の配置を工夫するとともに、転倒・移動防止を図りましょう。



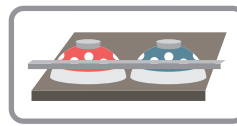
冷蔵庫などは転倒防止器具で固定しましょう。



戸棚の扉にはロック機能のついたものをつけましょう。



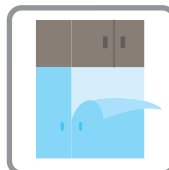
吊り下げ式の照明はチェーンなどで止めましょう。



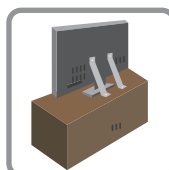
食器の滑り止めをつけましょう。

家電製品、ピアノの固定には工夫が必要

メーカーで専用の固定具を用意している場合もあるので、相談してみましょう。



ガラスには飛散防止フィルムをはりましょう。



懐中電灯などは手の届く所に置きましょう。

テレビはベルト、粘着マットなどで固定しましょう。

L字金具で壁に固定しましょう。重い物ほど下に入れましょう。

ストッパーと組み合わせると効果的です。

感震ブレーカーの設置費の助成をしています

電気復旧後に、電気ストーブにかかった布などに引火したり、傷ついたコードが発火したりして、通電火災が起こることがあります。地震の揺れを感知して自動的にブレーカーを落とす感震ブレーカーをつけましょう。

詳しくは市公式ウェブサイトまたは防災危機管理局危機管理企画室へ
TEL 972-3523

名古屋市 感震ブレーカー

検索



わが家について確認してみよう

災害時に、自宅だけでがをせず、命を守るためには？

電気、ガス、水道が止まって不自由な中、自宅はどう生活する？

どのような準備をしておけばいいか、
家族で話し合いをしてみましょう。

避難経路で家具の
転倒、ガラスの飛散は
ある？

・どの部屋で？
・飲み物・食べ物？
・トイレは？
・寒さ対策は？
・暑さ対策は？

自宅の
レイアウトを
書く

家の危険な
場所を
チェックする

電気のブレーカー、
ガスの元栓、マイ
コンメーターの
位置を確認する

部屋から外へ
出る避難経路
を考える

我が家でどう
生活するか
考える